



避難・引き渡し訓練の振り返り

6月22日に、附属学校園（幼稚園・小学校・中学校）で計画した、避難・合同引き渡し訓練（巨大地震対応）を実施しました。この訓練においては、確実な引き渡しのための教職員の役割確認や保護者・生徒の導線確認など、1度経験することにより、有事の際に混乱を回避し、冷静に行動するねらいがあります。

今回の訓練では、当然、自家用車による迎えもありましたが、学校園で想定していたよりも少なかったため、学園通りが渋滞することなく、普段の休日と大きく変わる状況ではありませんでした。有事の際には、今回配置した同数の教職員を誘導として配置できるとは限りません。自家用車で迎えに来られる保護者の皆様は、本校グラウンドへの進入経路、自家用車の並べ方の確認を再度お願いします。

🚗 自家用車使用の際の確認事項 🚗

小学校と中学校の間の北門から入り、本校体育館の西側をグラウンドに向かって進行し、東側に頭を向けた状態で駐車します。

教室で生徒を引き取った後は、南門から左折して公道に入ります。



こんな感じで並べるとスムーズにきました。



誘導お疲れ様！



1年生廊下引き渡し

学級担任が廊下に立ち、保護者確認をした後に、生徒を教室から呼び出して引き渡す方式です。

訓練の後には、本校教職員で改善すべき点や懸案事項の整理をしました。雨天の際の引き渡しや、暗くなった後の引き渡しなどについても、具体的なお願いを今後お伝えしていきます。

最後に、今回の引き渡し訓練後に共有した課題について紹介します。

- 動線を再度確認したほうが良い。自家用車の進入で歩行者が危ない場面があった。
- 計画では、小学校と中学校を行き来する保護者の導線が決まっていたが、それ以外の場所から行き来する保護者が多数いたため、自家用車との接触の危険性があった。
- 保護者の迎えができない生徒への対応について、全教職員で共通理解が必要である。実際には迎えができない、時間がかかる生徒が増えることが予想される。

オープンスクール 附属小・公立小対象

令和8年度入学者選抜検査に先がけ、6月27日と29日に、広く本校の学校や生徒の様子を知っていただくためのオープンスクールを開催しました。

27日は附属小学校の6年生と保護者を対象に、29日は公立小学校の6年生と保護者を対象に実施しました。両日で約600名の参加がありました。

前年度より1週遅い実施ということもあり、扇風機を設置しても暑さが予想されましたので、体育館での学校紹介等はコンパクトに30分にまとめ、その後は、授業見学や個別相談という流れにしました。

オープンスクールを実施するにあたって、かつて（15年ほど前に勤務していた頃）は、全て教職員が準備をしていたように記憶しています。近年は生徒会等が企画をし、児童目線の発表になっていて面白いと感じています。本年度は、体育館における短時間設定をカバーするために、第3学年生徒による歓迎合唱「大地讃頌」と、生徒会役員を中心に準備をした動画鑑賞「附属中の1日」の2部構成で実施しました。体育館アリーナいっぱい美しく響きわたる迫力ある歌声や、とてもすばらしい動画を作成した生徒の企画力の高さから、オープンスクールに参加された児童や保護者の方々は、本校の魅力を十分に感じていただけたのではないかと思います。

その後は、各学年の授業を参観していただきました。質問を受けるブースにも児童や保護者が来られ、とても高い関心をもってオープンスクールに臨んでいただけたようでした。

29日には、特別支援学級の学校説明会も行われました。約40名の参加があり、プレイルームで説明の後、児童と生徒が作業体験を行うなどして、どのようなことを学ぶのかを知っていただきました。体験を積み上げている生徒が、木材を上手に加工する姿は、小学生にとって興味深く映ったようです。

多くの方が「附属中学校にぜひ進学したい」と思うような学校になるように、これからも生徒、教職員、保護者で努力を続けていきたいと思っています。

今日は七夕ですね。 ☆ 星の願いを...

校内をまわると、教室の後方や廊下に七夕の飾りつけや願い事が書かれている学級があります。

「七夕」は、古代中国から伝わった伝説や「乞巧奠」という行事に、もともと日本にあった風習が結びついて誕生したと言われているようです。形を変えながら、今に受け継がれてきた行事なのですね。

私も、今晚星が見ることができれば、願いごとをいくつかしたいと思っています。E級前に飾られた笹の葉にも願い事を結び付けさせてもらいました。写真は、交流活動の様子です。

1学期前半の登校日も残すところあと9日になりました。来週の三者面談では「自分の成長」を生徒から保護者の方に語ってもらう計画です。

